

令和6年度 福井県立嶺南東特別支援学校 スクールプラン

福井県教育委員会

「一人一人の個性が輝く、  
ふくい未来を担う人づくり」

人権教育の推進

- 幼児児童生徒一人一人に「助け合い、みんな仲良く」の心情を育てる。
- 他者への思いやりと寛容さを育み、いじめ防止に努める。

学校経営方針

- |  |  |
|--|--|
| <p>「学 び」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個別・最適な学びの提供</li> <li>○ キャリア教育の充実</li> <li>○ 地域資源の活用</li> <li>○ 学舎連携での学びの創出</li> </ul> <p>「安心・安全」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 危機管理体制の強化</li> </ul> <p>「連 携」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ インクルーシブ教育の推進</li> <li>○ 関係機関との連携強化</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個別・最適な学びの提供 (一人一人の実態に応じた将来の自立・社会参加を目指す丁寧な支援)</li> <li>○ キャリア教育の充実 (幼稚部・小学部・中学部・高等部にわたる継続性と一貫性のある支援)</li> <li>○ 地域資源の活用 (地域の施設や人材を活用し、地域社会の中で体験し学ぶことができる支援)</li> <li>○ 学舎連携での学びの創出 (寄宿舎での生活体験により基本的生活習慣の確立と社会性の獲得を目指す支援)</li> <li>○ 危機管理体制の強化 (災害対策・不審者対策・感染症対策・いじめの未然防止・不登校対策)</li> <li>○ インクルーシブ教育の推進 (学校間・居住地校との「交流及び共同学習」の充実)</li> <li>○ 関係機関との連携強化 (家庭・医療・福祉・保健・労働・教育等の関係機関の協力による支援)</li> </ul> |
|--|--|

学校教育目標

自己の力を最大限に伸ばし、いきいきとして、心豊かに、たくましく生きていく人を育成する。

目指す学校像

- みんな“ていねい”に生きる学校
- 幼児児童生徒が一時一時を大切に生き、その持てる力を高められる学校
  - 教職員がやりがいを感じて職務に取り組み、学び合いで成長できる職場
  - 保護者にとって、子どもの教育的ニーズへの対応で連携協力するパートナー
  - 地域住民だれもが尊重され、豊かに過ごせる社会を目指す情報発信センター

校訓

かがやき豊かにたくましく

学校DX化推進

- 「教育活動」における取組
- 授業でのタブレット活用事例の集積と活用
  - 居住地・学校間交流でのオンライン活用
  - 幼児児童生徒作品のデジタルライブラリー化
- 「業務改善」における取組
- デジタル化・ペーパーレス化推進  
学校-保護者間、教職員間、分掌部内
  - 職員会議、部署会議などのオンライン化
  - 各部署の工夫により業務を効率化し、時間外勤務月45時間以内を目指す

重点目標	学び (教育課程・学習支援、生活学習)				安心・安全な生活 (児童生徒支援、保健・安全管理)		家庭や地域社会とのつながり (進路支援、PTA・交流)		
	1 教育課程・学習支援 (共通項目) 教務部	2 研究・研修 (独自項目) 図書・研究部	3 情報管理 (独自項目) 情報管理部	4 寄宿舎 (独自項目) 舎務部	5 児童生徒支援 (共通項目) 生活支援部	6 保健・安全管理 (独自項目) 保健安全部	7 進路支援 (共通項目) 進路支援部	8 PTA・交流 (独自項目) 庶務交流部	9 教育相談 (独自項目) 教育相談部
具体的な取組	学習指導要領等に基づき教育課程を編成し、指導計画(授業計画、個別の指導計画)を作成する。個々のニーズに応じた指導を実践し、評価、改善をしながら学校教育目標の実現を目指す。	今年度、本校で開催される福井県特別支援学校教育研究会が意義のある大会になるよう、研究内容の充実を努める。	○セキュリティ対策を進め、教職員や保護者・児童生徒の意識向上を図る。 ○設備や情報資産を活用するとともに、授業にタブレットなどの情報機器の活用を図る。	○規則正しい生活を通して基本的生活習慣の確立を図り、集団生活の中で自主・自立の心を育てる。 ○一人一人が願いを実現するために、自ら考え行動する力を育成する。	○幼児児童生徒がいきいきと活動できる場を設定すると共に、幼児児童生徒が安心して生活し学ぶことができる環境をつくる。	○幼児児童生徒の健康で安全な生活の維持・向上に努める。 ○教職員および幼児児童生徒の危機対応能力の向上を図り、安全な生活を送ることができる環境を整える。	キャリア教育の推進を図り、幼児児童生徒の社会への円滑な移行を実現する。	○会員同士が親交を深められる充実したPTA活動を推進する。 ○様々な交流及び共同学習の機会において、より有意義な交流活動を推進する。	○幼児児童生徒がいきいきと個に応じた生活ができるよう、家庭や校内、関係機関と連携を密にし、より効果的な支援を行う。
	○「学びの地図」を活用し、学習指導要領のねらいに即した3つの観点に沿って指導計画を立て、実践、評価する。 【目標】指導計画作成・達成指数80%以上	○研究テーマ「子ども一人一人が主体的・対話的で深い学びを実現する授業・活動づくり」について、幼児児童生徒の学びを読み取りながら授業・活動をどうデザインするかを学部内や授業研究会で話し合い、実践する。 【目標】取組成果指数80%以上	○主に個人情報の取り扱いやインターネット・SNSなどの危険性について、教職員や児童生徒に対する研修を進め、保護者への情報提供を図る。 【目標】情報セキュリティ遵守指数100%	○寄宿舎生が主体的に生活できる環境を整え、個々の発達段階に応じて将来に繋がる生活スキルを身に付ける支援を行う。 【目標】生活スキル向上満足度指数90%	○学校行事を通してやりがいや楽しみ、挑戦する気持ちを育てる。 【目標】いきいき・やりがい指数90%以上	○場面や状況に応じた感染症対策が適切に行われよう幼児児童生徒の衛生指導に取り組み、感染防止に努める。 【目標】感染症対策充実度指数80%以上	○幼児児童生徒の卒業後を見据え、各事業所から聞き取った「今から取り組んでほしいことや身につけてほしい力」を活用する。 【目標】卒業後を見据えた支援満足度指数80%以上	○社会の状況を考慮しつつ、幼児児童生徒の特性や保護者のニーズに合った、参加しやすいPTA行事の充実を図る。 【目標】保護者のPTA活動満足度指数80%以上	○幼児児童生徒の実態を多方面から把握し、支援目標や内容を適切に設定して個に応じた支援を連携して行う。 【目標】個別の教育支援計画目標達成指数90%以上
	○幼児児童生徒の成長や課題を適切に評価し、その情報を教師間で共有することに努める。保護者会の在り方を工夫し、保護者に学びに向かう姿や成長、課題をより分かりやすく伝える。 【目標】保護者の教育活動満足度指数80%以上		○幼児児童生徒の興味・関心に繋がるアプリや、障がい・特性に応じた周辺機器などを活用して充実した授業づくりを図る。また、授業にタブレットなどの情報機器を取り入れるとともに、その取り組み状況を発信する。 【目標】授業・校務等への活用指数80%以上	○保護者や学校と共通理解を図り、将来に繋がる支援を目指す。 【目標】寄宿舎生保護者の満足度指数90%	○幼児児童生徒の状況を丁寧に把握し、保護者との情報交換を密にすることで、家庭と学校で連携して子どもの成長・発達を促す。 【目標】安心・連携指数90%以上	○安全点検や避難訓練、防災・防犯研修等を通して危機管理に対する意識を高め、より安全な生活を送ることができる環境を整える。 【目標】環境整備充実度指数80%以上	○小学部段階から将来の生活へ関心・意欲が高まるような進路に関する情報提供を行う。 【目標】情報提供満足度指数80%以上	○居住地校交流や学校間交流において間接交流を含めた実施方法の工夫をし、有意義な交流活動を行う。 【目標】幼児児童生徒の交流及び共同学習満足度指数80%以上	○地域における特別支援教育のセンター的機能の充実を図るため、ニーズを聞き取り、困り感に寄り添った支援を行う。 【目標】巡回相談満足度指数90%以上